

人口等基本集計結果による大分県の人口概要

1 人口総数

令和2年国勢調査による総人口（確定数）は1,123,852人 平成27年に比べ3.6%減少
 男性が533,414人（総人口の47.5%）、女性が590,438人（同52.5%）

- 令和2年10月1日現在の本県の人口は、1,123,852人で、前回の平成27年調査の1,166,338人と比べ42,486人、3.6%減少した。
- 本県の人口は、昭和22年の調査で120万を超え、昭和30年の1,277,199人をピークに減少に転じ、昭和45年には1,155,566人まで減少した。
 その後は増加に転じ、昭和55年調査で再び120万を超え、昭和60年には1,250,214人まで増加したが、平成2年以降は減少が続き、今回の調査で1,123,852人となった。
- 人口を男女別にみると、男性が533,414人、女性が590,438人で、平成27年に比べ男性が18,518人、女性が23,968人減少している。
 また、男性が女性より57,024人少なく、人口性比（女性100人に対する男性の数）は90.3となったが、平成27年（89.8）に比べると0.5ポイント高くなっている。

(図1、図2、表1)

図1 大分県の人口及び人口増減率の推移

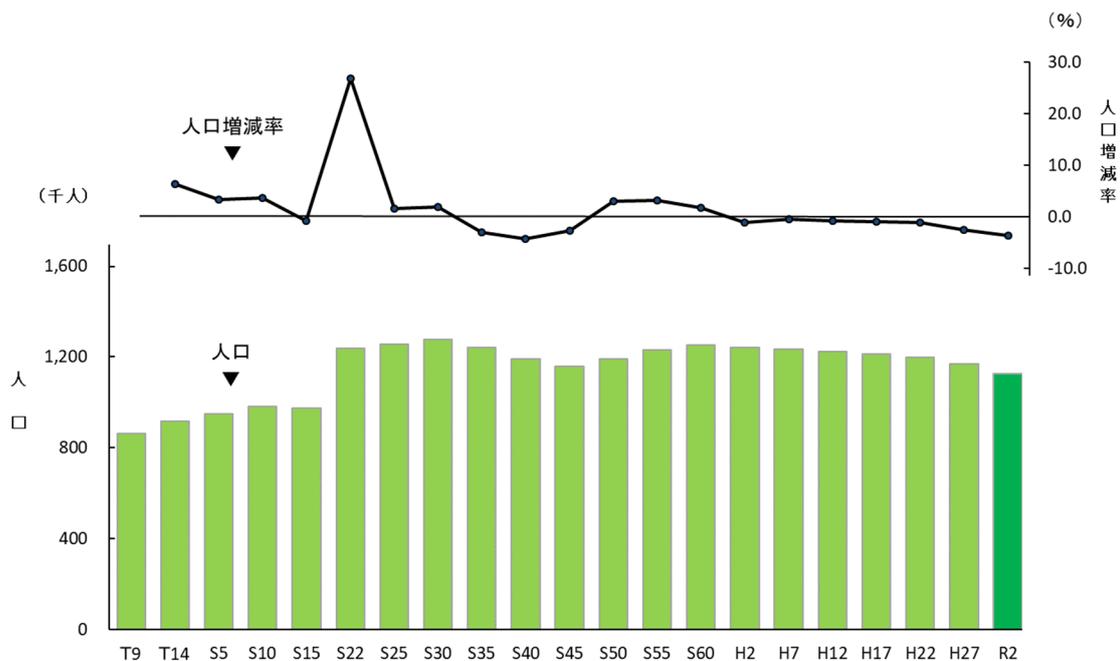
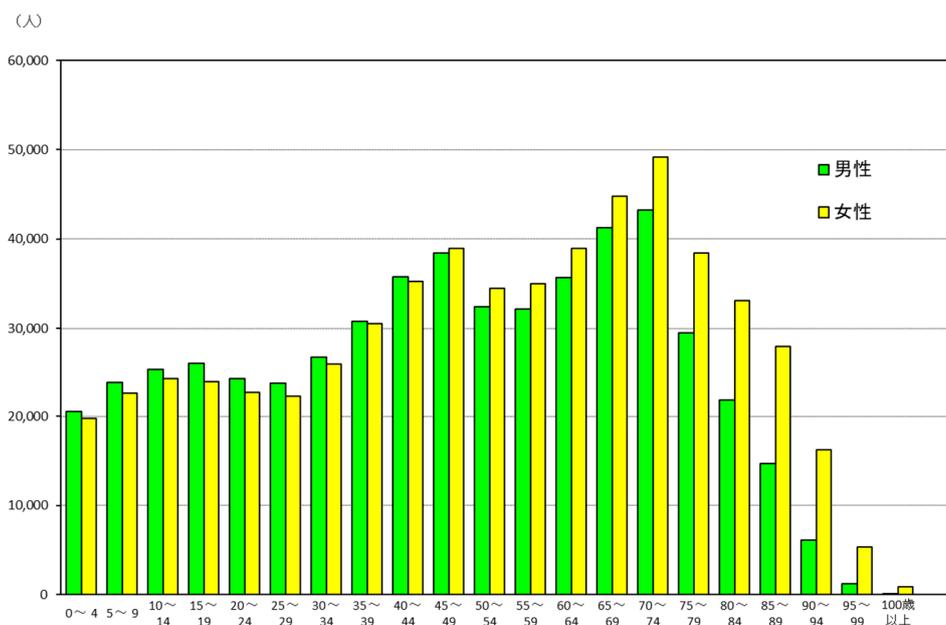


表1 大分県の人口の推移

年次	人口(人)			5年間の人口増減 1), 2)		男女別割合(%)		人口性比 3)
	総数	男	女	実数(人)	率(%)	男	女	
大正9年	860,282	422,708	437,574	—	—	49.1	50.9	96.6
14年	915,136	451,298	463,838	54,854	6.4	49.3	50.7	97.3
昭和5年	945,771	465,994	479,777	30,635	3.3	49.3	50.7	97.1
10年	980,458	481,549	498,909	34,687	3.7	49.1	50.9	96.5
15年	972,975	473,521	499,454	-7,483	-0.8	48.7	51.3	94.8
20年 4)	1,124,513	520,470	604,043	151,538	15.6	46.3	53.7	86.2
22年 5)	1,233,651	593,075	640,576	109,138	9.7	48.1	51.9	92.6
25年	1,252,999	604,825	648,174	19,348	1.6	48.3	51.7	93.3
30年	1,277,199	616,402	660,797	24,200	1.9	48.3	51.7	93.3
35年	1,239,655	590,963	648,692	-37,544	-2.9	47.7	52.3	91.1
40年	1,187,480	559,433	628,047	-52,175	-4.2	47.1	52.9	89.1
45年	1,155,566	540,541	615,025	-31,914	-2.7	46.8	53.2	87.9
50年	1,190,314	561,760	628,554	34,748	3.0	47.2	52.8	89.4
55年	1,228,913	583,097	645,816	38,599	3.2	47.4	52.6	90.3
60年	1,250,214	593,014	657,200	21,301	1.7	47.4	52.6	90.2
平成2年	1,236,942	584,672	652,270	-13,272	-1.1	47.3	52.7	89.6
7年	1,231,306	581,909	649,397	-5,636	-0.5	47.3	52.7	89.6
12年	1,221,140	575,985	645,155	-10,166	-0.8	47.2	52.8	89.3
17年	1,209,571	569,796	639,775	-11,569	-0.9	47.1	52.9	89.1
22年	1,196,529	564,890	631,639	-13,042	-1.1	47.2	52.8	89.4
27年	1,166,338	551,932	614,406	-30,191	-2.5	47.3	52.7	89.8
令和2年	1,123,852	533,414	590,438	-42,486	-3.6	47.5	52.5	90.3

- 1) 昭和20年～昭和22年は2年間の増減
- 2) 昭和22年～昭和25年は3年間の増減
- 3) 人口性比は女性100人に対する男性の数
- 4) 昭和20年人口調査による。
- 5) 昭和22年臨時国勢調査による。

図2 年齢(5歳階級)別、男女別人口



(注)不詳補充値による。

2 市町村別人口

■ 全市町村で減少

- 人口を市町村別にみると、大分市が475,614人（県人口の42.3%）で最も多く、次いで別府市が115,321人（同10.3%）、中津市が82,863人（同7.4%）、佐伯市が66,851人（同5.9%）、日田市が62,657人（同5.6%）、宇佐市が52,771人（同4.7%）と続いており、最も少ないのは姫島村の1,725人（同0.2%）となっている。
- 人口が増加した市町村はなく、全市町村で減少している。
- 減少数が最も多かったのは別府市で6,817人、次いで佐伯市が5,360人、日田市が3,866人、宇佐市が3,487人、豊後大野市が2,889人となっている。
- 減少率が最も高かったのは姫島村で13.4%、次いで九重町が11.4%、津久見市が10.4%、玖珠町が9.1%、竹田市が9.0%となっている。

（図3、表2）

図3 市町村別人口

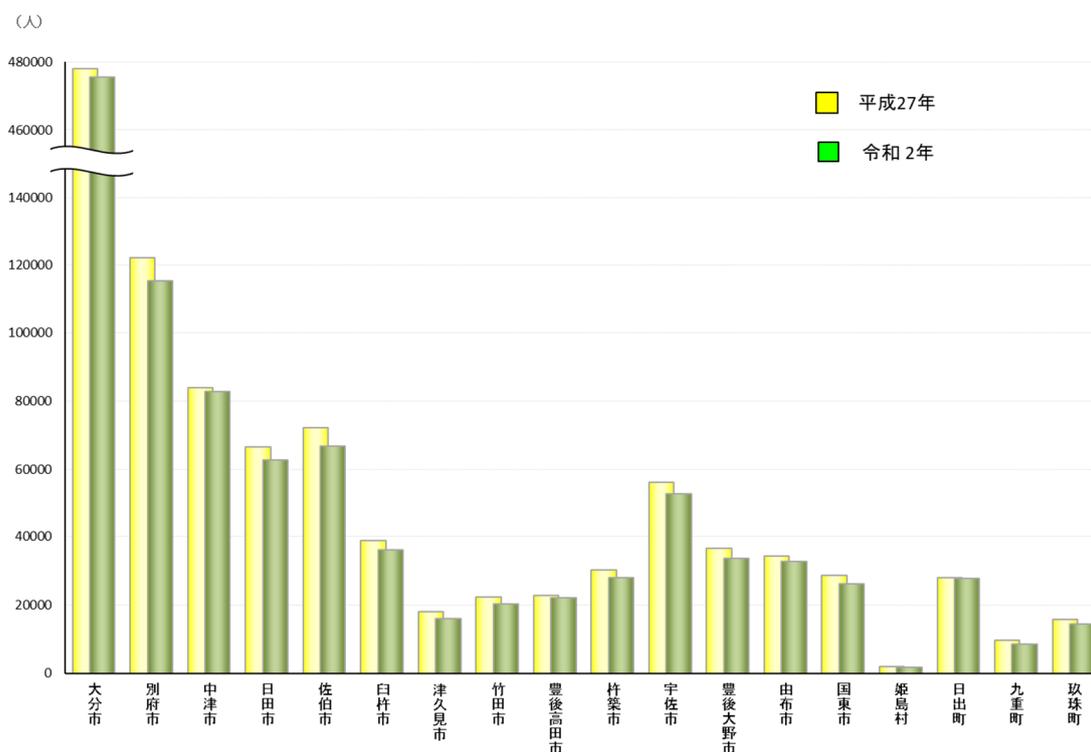


表2 市町村別人口

市 町 村	人 口 (人)		平成27年～令和2年の増減	
	令和2年	平成27年	実数 (人)	率 (%)
大分県	1,123,852	1,166,338	-42,486	-3.6
大分市	475,614	478,146	-2,532	-0.5
別府市	115,321	122,138	-6,817	-5.6
中津市	82,863	83,965	-1,102	-1.3
日田市	62,657	66,523	-3,866	-5.8
佐伯市	66,851	72,211	-5,360	-7.4
臼杵市	36,158	38,748	-2,590	-6.7
津久見市	16,100	17,969	-1,869	-10.4
竹田市	20,332	22,332	-2,000	-9.0
豊後高田市	22,112	22,853	-741	-3.2
杵築市	27,999	30,185	-2,186	-7.2
宇佐市	52,771	56,258	-3,487	-6.2
豊後大野市	33,695	36,584	-2,889	-7.9
由布市	32,772	34,262	-1,490	-4.3
国東市	26,232	28,647	-2,415	-8.4
姫島村	1,725	1,991	-266	-13.4
日出町	27,723	28,058	-335	-1.2
九重町	8,541	9,645	-1,104	-11.4
玖珠町	14,386	15,823	-1,437	-9.1

3 年齢別人口

- 65歳以上人口は5.7%増、総人口に占める割合は30.3%から33.3%に上昇
- 15～64歳人口は7.8%減、割合は57.1%から54.6%に低下
- 15歳未満人口は7.3%減、割合は12.6%から12.1%に低下

- 総人口を年齢別にみると、15歳未満人口（年少人口）は136,329人（総人口の12.1%）、15～64歳人口（生産年齢人口）は613,637人（同54.6%）、65歳以上人口（老年人口）は373,886人（同33.3%）となっている。
- 15歳未満人口は、平成27年に比べ10,735人（7.3%）減となっている。また、総人口に占める割合は0.5ポイント低下しており、調査開始以来最も低くなっている。
- 15～64歳人口は平成27年に比べ51,874人（7.8%）減となっている。また、総人口に占める割合は2.5ポイント低下している。
- 65歳以上人口は、平成27年に比べ20,123人（5.7%）増となっている。また、総人口に占める割合は3.0ポイント上昇しており、調査開始以来最も高くなっている。

(図4、表3)

図4 年齢（3区分）別人口の推移

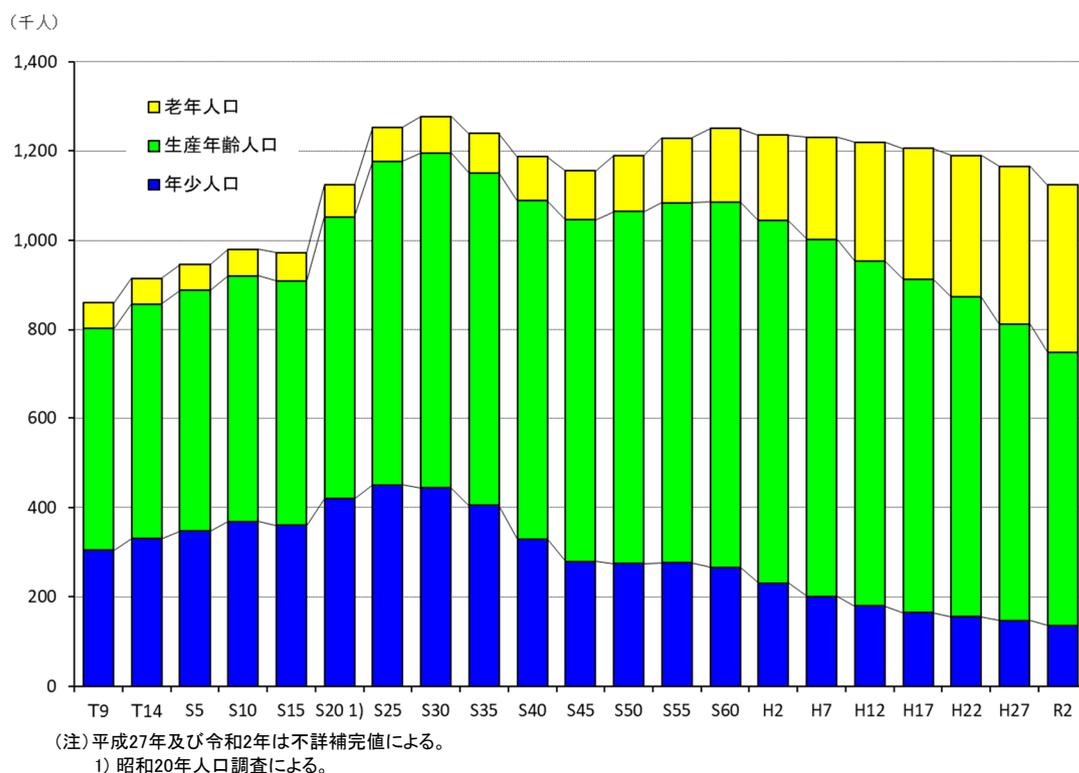


表3 年齢（3区分）別人口の推移

年次	実数（人）					割合（%）		
	総数	15歳未満 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）	不詳	15歳未満 （年少人口）	15～64歳 （生産年齢人口）	65歳以上 （老年人口）
大正9年	860,282	304,543	498,405	57,334	0	35.4	57.9	6.7
14年	915,136	329,971	527,184	57,981	0	36.1	57.6	6.3
昭和5年	945,771	346,749	541,459	57,563	0	36.7	57.3	6.1
10年	980,458	368,572	552,171	59,715	0	37.6	56.3	6.1
15年	972,601	359,872	549,716	63,000	13	37.0	56.5	6.5
20年 1)	1,124,513	419,461	633,517	71,535	0	37.3	56.3	6.4
25年	1,252,999	450,443	726,881	75,599	76	36.0	58.0	6.0
30年	1,277,199	443,717	751,849	81,622	11	34.7	58.9	6.4
35年	1,239,655	405,103	746,271	88,281	0	32.7	60.2	7.1
40年	1,187,480	329,717	759,450	98,313	0	27.8	64.0	8.3
45年	1,155,566	279,605	766,049	109,912	0	24.2	66.3	9.5
50年	1,190,314	274,612	789,878	125,669	155	23.1	66.4	10.6
55年	1,228,913	276,390	808,130	144,240	153	22.5	65.8	11.7
60年	1,250,214	266,502	819,891	163,746	75	21.3	65.6	13.1
平成2年	1,236,942	231,265	812,665	191,441	1,571	18.7	65.8	15.5
7年	1,231,306	200,909	801,035	229,076	286	16.3	65.1	18.6
12年	1,221,140	179,439	774,403	265,901	1,397	14.7	63.5	21.8
17年	1,209,571	164,541	748,872	292,805	3,353	13.6	62.1	24.3
22年	1,196,529	155,634	717,319	316,750	6,826	13.1	60.3	26.6
27年	1,166,338	147,064	665,511	353,763	-	12.6	57.1	30.3
令和2年	1,123,852	136,329	613,637	373,886	-	12.1	54.6	33.3

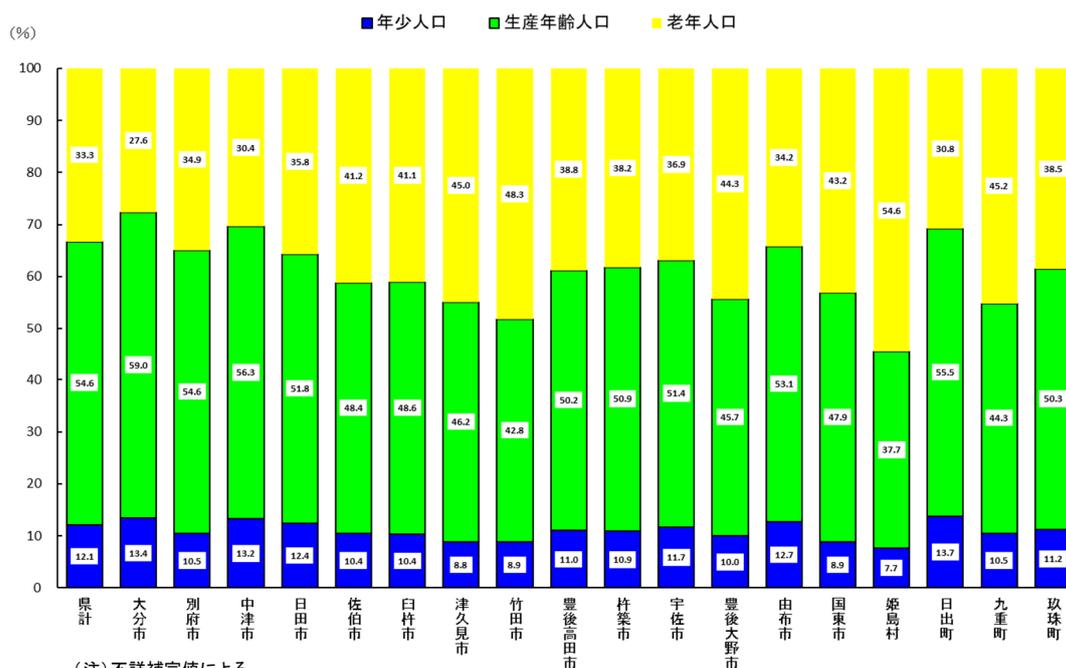
(注) 平成27年及び令和2年の実数は不詳補完値による。なお、平成27年及び令和2年の割合は不詳補完値により、平成22年以前の割合は分母から不詳を除いて算出している。

1) 昭和20年人口調査による。

○ 総人口に占める65歳以上人口の割合を市町村別にみると、姫島村(54.6%)が最も高く、大分市(27.6%)が最も低くなっている。65歳以上人口の割合は、平成27年に比べ全ての市町村で上昇している。

(図5、表4)

図5 市町村別、年齢(3区分)別人口構成



(注) 不詳補完値による。

割合は、表章単位未満を四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。

表4 市町村別、年齢(3区分)別人口構成

市町村	人 口				割 合 (%)		
	総 数	15歳未満 (年少人口)	15~64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	15歳未満 (年少人口)	15~64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)
大分県	1,123,852	136,329	613,637	373,886	12.1	54.6	33.3
大分市	475,614	63,568	280,585	131,461	13.4	59.0	27.6
別府市	115,321	12,096	62,950	40,275	10.5	54.6	34.9
中津市	82,863	10,975	46,674	25,214	13.2	56.3	30.4
日田市	62,657	7,778	32,460	22,419	12.4	51.8	35.8
佐伯市	66,851	6,984	32,356	27,511	10.4	48.4	41.2
臼杵市	36,158	3,743	17,562	14,853	10.4	48.6	41.1
津久見市	16,100	1,420	7,438	7,242	8.8	46.2	45.0
竹田市	20,332	1,810	8,708	9,814	8.9	42.8	48.3
豊後高田市	22,112	2,436	11,103	8,573	11.0	50.2	38.8
杵築市	27,999	3,041	14,264	10,694	10.9	50.9	38.2
宇佐市	52,771	6,170	27,137	19,464	11.7	51.4	36.9
豊後大野市	33,695	3,369	15,392	14,934	10.0	45.7	44.3
由布市	32,772	4,170	17,388	11,214	12.7	53.1	34.2
国東市	26,232	2,327	12,575	11,330	8.9	47.9	43.2
姫島村	1,725	133	650	942	7.7	37.7	54.6
日出町	27,723	3,804	15,374	8,545	13.7	55.5	30.8
九重町	8,541	897	3,786	3,858	10.5	44.3	45.2
玖珠町	14,386	1,608	7,235	5,543	11.2	50.3	38.5

(注) 不詳補完値による。

割合は、表章単位未満で四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。

4 世帯の状況

■ 世帯の確定数は489,249世帯で、平成27年に比べ0.6%の増加

○ 令和2年10月1日現在の本県の世帯数は、489,249世帯で、前回の平成27年国勢調査の486,535世帯と比べ2,714世帯、0.6%増加した。

(図6、表5)

図6 世帯数及び総人口の推移

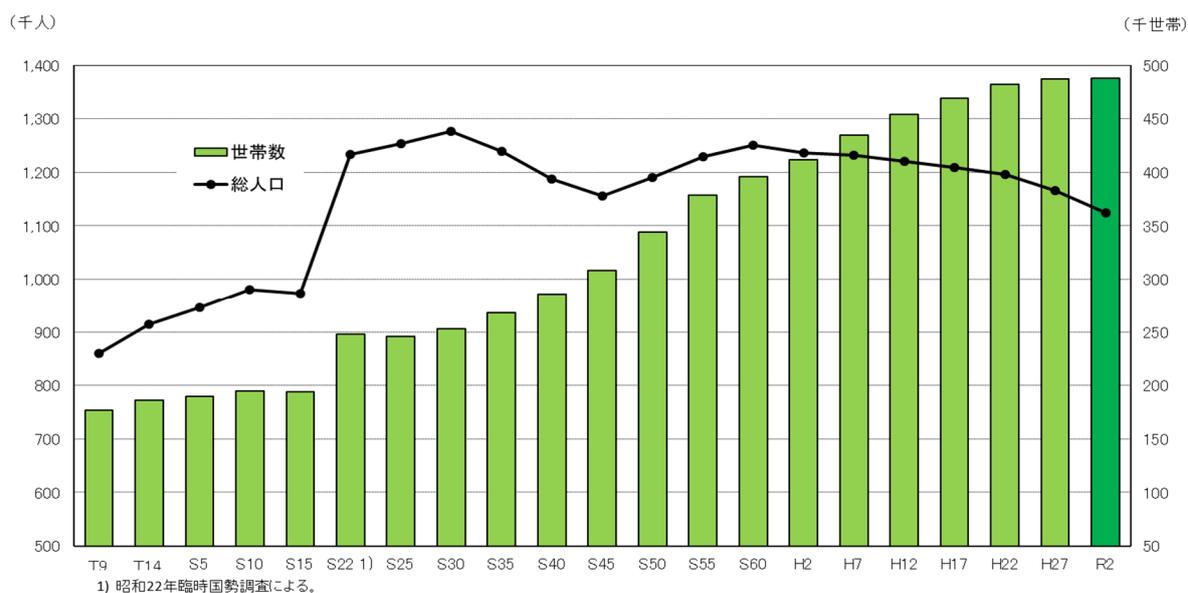


表5 世帯数の推移

年次	総人口(人)	世帯	
		世帯数	5年間の増減(%) 1), 2)
大正9年	860,282	176,843	—
14年	915,136	186,367	5.4
昭和5年	945,771	190,280	2.1
10年	980,458	195,292	2.6
15年	972,975	193,759	-0.8
22年 ³⁾	1,233,651	248,471	28.2
25年	1,252,999	246,465	-0.8
30年	1,277,199	253,221	2.7
35年	1,239,655	267,692	5.7
40年	1,187,480	285,787	6.8
45年	1,155,566	308,454	7.9
50年	1,190,314	344,100	11.6
55年	1,228,913	379,040	10.2
60年	1,250,214	395,855	4.4
平成2年	1,236,942	411,634	4.0
7年	1,231,306	435,040	5.7
12年	1,221,140	453,814	4.3
17年	1,209,571	469,270	3.4
22年	1,196,529	482,051	2.7
27年	1,166,338	486,535	0.9
令和2年	1,123,852	489,249	0.6

1) 昭和15年～昭和22年は7年間の増減
 2) 昭和22年～昭和25年は3年間の増減
 3) 昭和22年臨時国勢調査による。

- 一般世帯数は487,679世帯で、平成27年に比べ2,678世帯、0.6%増加している。また、施設等の世帯数は1,570世帯で、平成27年の1,534世帯に比べ36世帯、2.3%増加している。
- 一般世帯の1世帯当たり人員は、平成27年の2.32人から2.22人に減少している。

(表6)

表6 総世帯数、一般世帯数、一般世帯人員、一般世帯の1世帯当たり人員、施設等の世帯数及び施設等の世帯人員の推移

年次		総世帯数 ¹⁾	一般世帯			施設等の世帯	
			世帯数	世帯人員 (人)	1世帯当たり 人員(人)	世帯数	世帯人員 (人)
実数	平成17年	469,270	465,195	1,173,495	2.52	1,167	32,723
	22年	482,051	480,443	1,159,942	2.41	1,608	36,587
	27年	486,535	485,001	1,125,563	2.32	1,534	40,775
	令和2年	489,249	487,679	1,082,266	2.22	1,570	41,586
増減数	平成17～22年	12,781	15,248	-13,553	-0.11	441	3,864
	22～27年	4,484	4,558	-34,379	-0.09	-74	4,188
	平成27年～令和2年	2,714	2,678	-43,297	-0.10	36	811
増減率 (%)	平成17～22年	2.7	3.3	-1.2	-4.4	37.8	11.8
	22～27年	0.9	0.9	-3.0	-3.7	-4.6	11.4
	平成27年～令和2年	0.6	0.6	-3.8	-4.3	2.3	2.0

(注) 一般世帯とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。

1) 世帯の種類「不詳」を含む。

■ 世帯員が1人の世帯が増加し、1世帯あたり人員は2.22人に減少

- 一般世帯数（487,679世帯）を世帯人員別にみると、1人世帯が175,329世帯（一般世帯の36.0%）と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっている。
- 平成27年～令和2年の一般世帯数の増減を世帯人員別にみると、1人世帯が8.9%増、2人世帯が2.2%増と、世帯人員が2人以下の世帯で増加しているのに対し、3人以上の世帯ではいずれも減少している。

(図7、表7)

図7 世帯人員別一般世帯数の推移

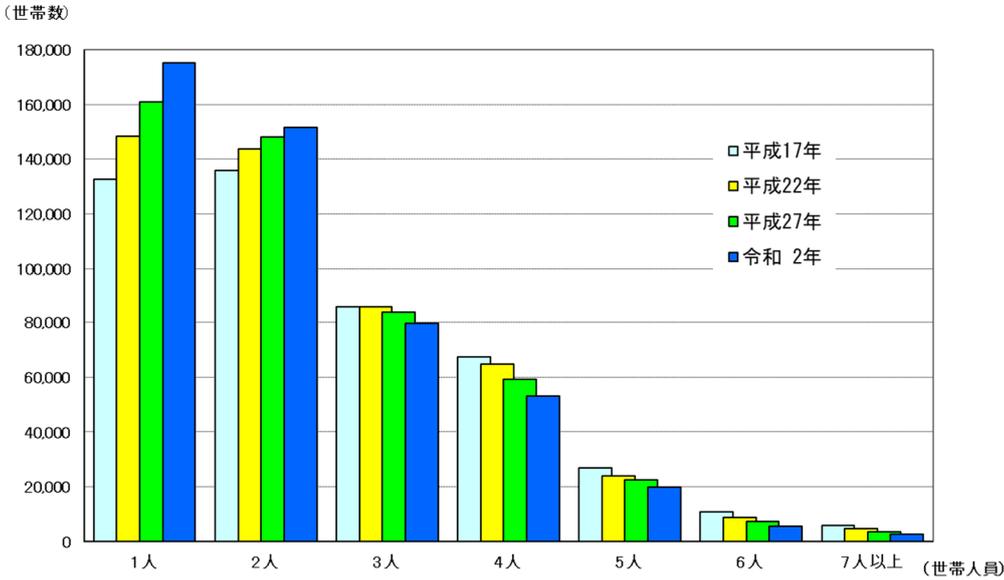


表7 世帯人員（7区分）別一般世帯数の推移

年次		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
実数	平成17年	465,195	132,586	135,868	85,894	67,262	26,881	10,804	5,900
	22年	480,443	148,343	143,874	86,051	64,863	24,040	8,667	4,605
	27年	485,001	161,038	148,187	83,660	59,071	22,369	7,197	3,479
	令和2年	487,679	175,329	151,498	79,550	53,183	19,883	5,624	2,612
増減数	平成17～22年	15,248	15,757	8,006	157	-2,399	-2,841	-2,137	-1,295
	22～27年	4,558	12,695	4,313	-2,391	-5,792	-1,671	-1,470	-1,126
	平成27年～令和2年	2,678	14,291	3,311	-4,110	-5,888	-2,486	-1,573	-867
増減率(%)	平成17～22年	3.3	11.9	5.9	0.2	-3.6	-10.6	-19.8	-21.9
	22～27年	0.9	8.6	3.0	-2.8	-8.9	-7.0	-17.0	-24.5
	平成27年～令和2年	0.6	8.9	2.2	-4.9	-10.0	-11.1	-21.9	-24.9
割合(%)	17年	100.0	28.5	29.2	18.5	14.5	5.8	2.3	1.3
	22年	100.0	30.9	29.9	17.9	13.5	5.0	1.8	1.0
	27年	100.0	33.2	30.6	17.2	12.2	4.6	1.5	0.7
	令和2年	100.0	36.0	31.1	16.3	10.9	4.1	1.2	0.5

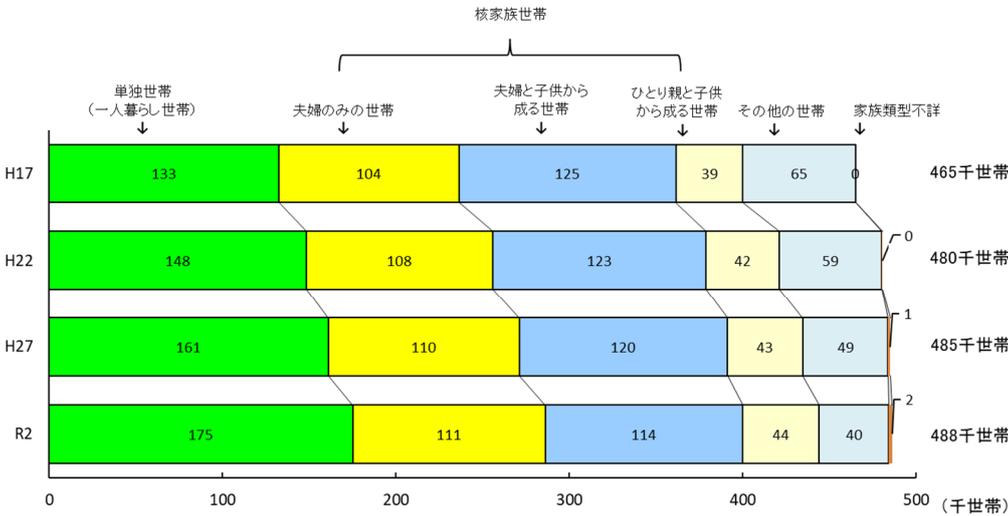
(注) 割合は、表章単位未満で四捨五入しているため、合計は100にならない場合がある。

■ 「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」は増加、「夫婦と子供から成る世帯」は減少

- 一般世帯数を家族類型別にみると、「単独世帯」（一人暮らし世帯）は175,329世帯（一般世帯の36.1%）、「夫婦と子供から成る世帯」は113,994世帯（同23.5%）、「夫婦のみの世帯」は111,409世帯（同22.9%）などとなっている。
- 平成27年と比べると「単独世帯」は8.9%増となっており、一般世帯に占める割合は33.3%から36.1%に上昇している。「夫婦のみの世帯」は1.2%増となっており、一般世帯に占める割合は22.8%から22.9%に上昇している。一方、「夫婦と子どもから成る世帯」は5.0%減となっており、一般世帯に占める割合は24.8%から23.5%に低下している。

(図8、表8)

図8 一般世帯の家族類型別世帯数の推移



(注1) 「その他の世帯」とは、「夫婦と両親から成る世帯」や「兄弟姉妹のみから成る世帯」などの世帯をいう。
 (注2) 平成17年の数値は、「新分類区分による遡及集計結果」による。
 (注3) 世帯数は、表章単位未満で四捨五入しているため、総数と一致しない場合がある。

表8 一般世帯の家族類型別世帯数の推移

年次	総数 1)	単独世帯	核家族世帯			その他の世帯	
			夫婦のみの世帯	夫婦と子供から成る世帯	ひとり親と子供から成る世帯		
実数	平成 17年	465,195	132,586	103,903	124,981	38,545	65,180
	22年	480,443	148,343	107,549	122,946	42,191	59,127
	27年	485,001	161,038	110,034	119,987	43,449	49,128
	令和 2年	487,679	175,329	111,409	113,994	44,412	40,427
増減数	平成 17 ~ 22年	15,248	15,757	3,646	-2,035	3,646	-6,053
	22 ~ 27年	4,558	12,695	2,485	-2,959	1,258	-9,999
	平成27年~令和2年	2,678	14,291	1,375	-5,993	963	-8,701
増減率 (%)	平成 17 ~ 22年	3.3	11.9	3.5	-1.6	9.5	-9.3
	22 ~ 27年	0.9	8.6	2.3	-2.4	3.0	-16.9
	平成27年~令和2年	0.6	8.9	1.2	-5.0	2.2	-17.7
割合 (%)	平成 17年	100.0	28.5	22.3	26.9	8.3	14.0
	22年	100.0	30.9	22.4	25.6	8.8	12.3
	27年	100.0	33.3	22.8	24.8	9.0	10.2
	令和 2年	100.0	36.1	22.9	23.5	9.1	8.3

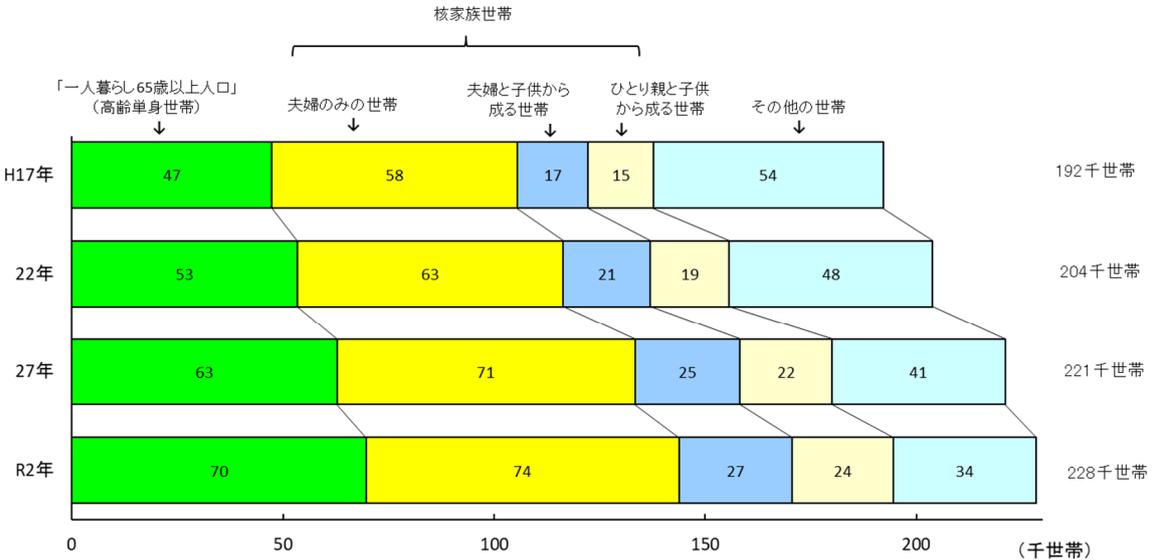
(注1) 平成17年の数値は、「新分類区分による遡及集計結果」による。
 (注2) 割合は、分母から不詳を除いて算出している。また、表章単位未満で四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。
 1) 世帯の家族類型「不詳」を含む。

■ 「一人暮らし65歳以上人口」は69,725人で、平成27年に比べ11.1%の増加

- 65歳以上世帯員がいる一般世帯は228,413世帯で、一般世帯の46.8%を占めており、平成27年に比べ7,370世帯、3.3%増加している。このうち、核家族世帯は124,909世帯（65歳以上世帯員がいる一般世帯の54.7%）で、6.5%増加している。
- 「一人暮らし65歳以上人口」（高齢単身世帯）は、69,725人（同30.5%）で11.1%増加しており、65歳以上人口に占める割合も18.9%と平成27年（17.8%）に比べ上昇している。
- 「一人暮らし65歳以上人口」を男女別にみると、男性が21,446人、女性が48,279人で、女性が男性の2.3倍となっている。
- 「一人暮らし65歳以上人口」が65歳以上人口に占める割合は、男女別にみると、男性が13.8%、女性が22.6%となっており、65歳以上男性の約7人に1人、65歳以上女性の約4人に1人が一人暮らしとなっている。

(図9、表9、表10)

図9 65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型別世帯数の推移



(注1) 「夫婦のみの世帯」には高齢夫婦世帯が含まれる。
「その他の世帯」とは、「夫婦と両親から成る世帯」や「兄弟姉妹のみから成る世帯」などの世帯をいう。
(注2) 平成17年の数値は、「新分類区分による遡及集計結果」による。
(注3) 世帯数は、表章単位未満で四捨五入しているため、総数と一致しない場合がある。
(注4) 原数値によるため、不詳補完値とは一致しない。

表9 65歳以上世帯員がいる一般世帯の家族類型別世帯数の推移

年次	総数	単独世帯	核家族世帯			その他の世帯	
			夫婦のみ の世帯	夫婦と子供 から成る世帯	ひとり親と 子供から成る 世帯		
実数	平成 17年	192,144	47,379	58,055	16,876	15,407	54,427
	22年	203,793	53,384	62,947	20,678	18,716	48,068
	27年	221,043	62,766	70,587	24,902	21,758	41,030
	令和 2年	228,413	69,725	74,052	26,853	24,004	33,779
増減数	平成 17 ~ 22年	11,649	6,005	4,892	3,802	3,309	-6,359
	22 ~ 27年	17,250	9,382	7,640	4,224	3,042	-7,038
	平成27年~令和2年	7,370	6,959	3,465	1,951	2,246	-7,251
増減率 (%)	平成 17 ~ 22年	6.1	12.7	8.4	22.5	21.5	-11.7
	22 ~ 27年	8.5	17.6	12.1	20.4	16.3	-14.6
	平成27年~令和2年	3.3	11.1	4.9	7.8	10.3	-17.7
割合 (%)	平成 17年	100.0	24.7	30.2	8.8	8.0	28.3
	22年	100.0	26.2	30.9	10.1	9.2	23.6
	27年	100.0	28.4	31.9	11.3	9.8	18.6
	令和 2年	100.0	30.5	32.4	11.8	10.5	14.8

(注1) 平成17年の数値は、「新分類区分による遡及集計結果」による。

(注2) 原数値によるため、不詳補完値とは一致しない。

表10 男女別65歳以上人口の推移

男女・年次	実数 (人)		割合 (%)		5年間の増減数 (人)		5年間の増減率 (%)		
	65歳以上 人口	うち 単独世帯	65歳以上 人口	うち 単独世帯	65歳以上 人口	うち 単独世帯	65歳以上 人口	うち 単独世帯	
総数	平成 17年	292,805	47,379	100.0	16.2	-	-	-	-
	22年	316,750	53,384	100.0	16.9	23,945	6,005	8.2	12.7
	27年	351,745	62,766	100.0	17.8	34,995	9,382	11.0	17.6
	令和 2年	369,192	69,725	100.0	18.9	17,447	6,959	5.0	11.1
男	平成 17年	118,754	10,091	100.0	8.5	-	-	-	-
	22年	128,790	12,175	100.0	9.5	10,036	2,084	8.5	20.7
	27年	146,429	17,121	100.0	11.7	17,639	4,946	13.7	40.6
	令和 2年	155,841	21,446	100.0	13.8	9,412	4,325	6.4	25.3
女	平成 17年	174,051	37,288	100.0	21.4	-	-	-	-
	22年	187,960	41,209	100.0	21.9	13,909	3,921	8.0	10.5
	27年	205,316	45,645	100.0	22.2	17,356	4,436	9.2	10.8
	令和 2年	213,351	48,279	100.0	22.6	8,035	2,634	3.9	5.8

(注)原数値によるため、不詳補完値とは一致しない。

5 配偶関係（15歳以上）

- 「未婚」の割合は男性が高い
- 「死別」の割合は女性が高い

- 男女別15歳以上人口を配偶関係別にみると、男性（463,750人）は、「未婚」が140,157人（15歳以上男性の30.2%）、「有配偶」が279,562人（同60.3%）、「死別」が18,231人（同3.9%）、「離別」が25,800人（同5.6%）となっている。
- 一方、女性（523,773人）は、「未婚」が111,277人（15歳以上女性の21.2%）、「有配偶」は279,940人（同53.4%）、「死別」が90,206人（同17.2%）、「離別」が42,350人（同8.1%）となっている。

（表11）

表11 配偶関係、男女別15歳以上人口

男 女、 配偶関係	実数（人）		割合（%）		平成27年～ 令和2年の差 （ポイント）
	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	
総数	987,523	1,019,274	100.0	100.0	—
未婚	251,434	253,325	25.5	24.9	0.6
有配偶	559,502	589,589	56.7	57.8	-1.1
死別	108,437	112,293	11.0	11.0	0.0
離別	68,150	64,067	6.9	6.3	0.6
男	463,750	476,703	100.0	100.0	—
未婚	140,157	138,571	30.2	29.1	1.1
有配偶	279,562	294,978	60.3	61.9	-1.6
死別	18,231	18,532	3.9	3.9	0.0
離別	25,800	24,622	5.6	5.2	0.4
女	523,773	542,571	100.0	100.0	—
未婚	111,277	114,754	21.2	21.2	0.0
有配偶	279,940	294,611	53.4	54.3	-0.9
死別	90,206	93,761	17.2	17.3	-0.1
離別	42,350	39,445	8.1	7.3	0.8

（注1）不詳補完値による。なお、割合は、表章単位未満で四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。

（注2）配偶関係については届出の有無にかかわらず、実際の状態により次の四つの区分としている。

- ① 「未婚」はまだ結婚したことのない人
- ② 「有配偶」は妻又は夫のある人
- ③ 「死別」は妻又は夫と死別して独身の人
- ④ 「離別」は妻又は夫と離別して独身の人

6 外国人の状況

■ 大分県に在住する外国人は平成27年に比べ17.5%の増加

- 大分県に在住する外国人は10,168人で、平成27年に比べ1,512人、17.5%上昇している。
- 国籍別ではベトナムが2,446人（外国人人口の24.1%）と最も多く、次いで中国が1,905人（同18.7%）、韓国・朝鮮が1,354人（同13.3%）、フィリピンが1,190人（同11.7%）、インドネシアが691人（同6.8%）となっている。

これを平成27年と比べると、中国が669人（26.0%）、韓国・朝鮮が309人（18.6%）、タイが131人（48.3%）減少しているのに対し、ベトナムが1,603人（190.2%）、インドネシアが234人（51.2%）、フィリピンが218人（22.4%）増加している。

（図10、表12）

図10 外国人人口の推移

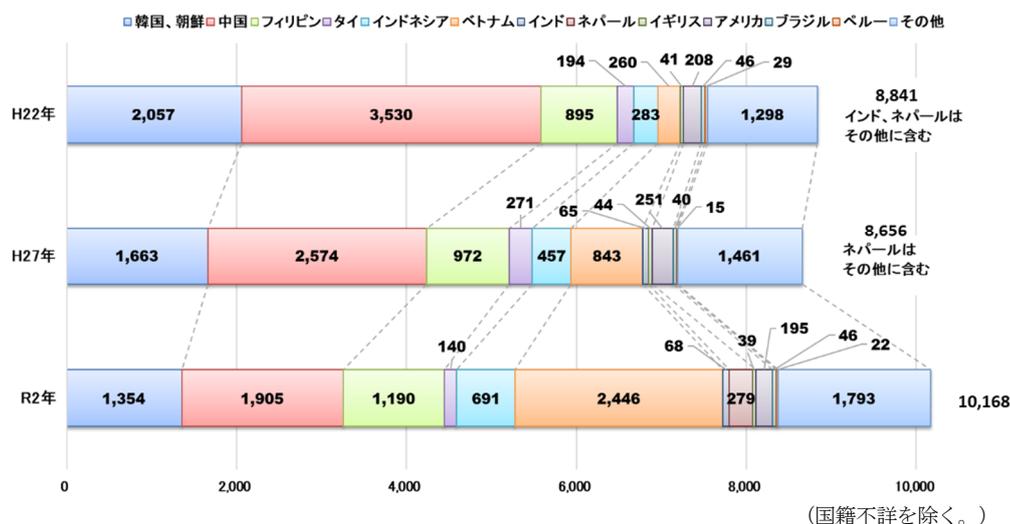


表12 外国人人口の推移

国籍	平成22年	平成27年	令和2年
総数 1)	8,841	8,656	10,168
韓国、朝鮮	2,057	1,663	1,354
中国	3,530	2,574	1,905
フィリピン	895	972	1,190
タイ	194	271	140
インドネシア	283	457	691
ベトナム	260	843	2,446
インド	-	65	68
ネパール	-	-	279
イギリス	41	44	39
アメリカ	208	251	195
ブラジル	46	40	46
ペルー	29	15	22
その他	1,298	1,461	1,793

（注1） 「その他」（国籍）については、無国籍及び国名「不詳」の者を含む。
 （注2） インドは平成27年から、ネパールは令和2年から公表している。

1) 国籍不詳を除く。

7 住居の状況

■ 「持ち家」の割合は63.5%

- 住宅に住む一般世帯数（480,728世帯）を住宅の所有の関係別にみると、「持ち家」が305,166世帯（住宅に住む一般世帯の63.5%）と最も多く、次いで「民営の借家」が136,174世帯（同28.3%）、県営住宅や市町村営住宅の「公営の借家」が21,367世帯（同4.4%）、社宅や公務員宿舎などの「給与住宅」が12,542世帯（同2.6%）、「間借り」が5,318世帯（同1.1%）などとなっている。
- 住宅に住む一般世帯に占める「持ち家」の割合を平成27年と比べると63.7%から63.5%に0.2ポイント低下している。「民営の借家」は28.2%から28.3%に0.1ポイント上昇している。

(表13)

表13 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移

年次		住宅に住む一般世帯						
		総数	持ち家	公営の借家	都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
実数	平成 17年	458,650	294,087	25,956	610	118,230	15,324	4,443
	22年	474,378	299,782	25,210	403	130,692	14,105	4,186
	27年	477,088	303,728	22,364	923	134,721	11,758	3,594
	令和 2年	480,728	305,166	21,367	161	136,174	12,542	5,318
割合 (%)	平成 17年	100.0	64.1	5.7	0.1	25.8	3.3	1.0
	22年	100.0	63.2	5.3	0.1	27.6	3.0	0.9
	27年	100.0	63.7	4.7	0.2	28.2	2.5	0.8
	令和 2年	100.0	63.5	4.4	0.0	28.3	2.6	1.1

(注) 住宅に住む一般世帯数は、一般世帯のうち住宅以外（寄宿舍・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など）に居住している世帯を除いたものである。

不詳補完値について

令和2年国勢調査の集計に当たり、結果利用者の利便性を図るため、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を算出し、これを表章した統計表を参考表として提供している。

（総務省統計局 令和2年国勢調査 人口等基本集計結果 抜粋）

不詳補完値の算出方法は、総務省統計局ホームページ「令和2年国勢調査 調査の結果結果の概要」をご覧ください。

○あん分対象項目：年齢、国籍（日本人・外国人の別）、配偶関係

補完前の集計結果（原数値）

年齢	人口(人)	
	令和2年	平成27年
総数	1,123,852	1,166,338
0～4歳	39,991	45,798
5～9歳	46,097	49,560
10～14歳	49,184	51,055
15～19歳	48,706	53,587
20～24歳	42,772	46,785
25～29歳	44,004	52,372
30～34歳	50,903	60,742
35～39歳	59,886	70,697
40～44歳	69,544	77,300
45～49歳	75,712	67,032
50～54歳	65,569	67,039
55～59歳	65,956	74,461
60～64歳	73,475	87,154
65～69歳	84,717	96,368
70～74歳	91,083	73,480
75～79歳	67,123	63,814
80～84歳	54,388	56,765
85～89歳	42,173	38,701
90～94歳	22,238	17,329
95～99歳	6,473	4,539
100歳以上	997	749
年齢不詳	22,861	11,011
（再掲）15歳未満	135,272	146,413
（再掲）15～64歳	596,527	657,169
（再掲）65歳以上	369,192	351,745

日本人・外国人	人口(人)	
	令和2年	平成27年
総数	1,123,852	1,166,338
日本人	1,098,735	1,150,436
外国人	10,168	8,656
日本人・外国人の別「不詳」	14,949	7,262

配偶関係	人口(人)	
	令和2年	平成27年
総数	965,719	1,008,914
未婚	231,760	240,551
有配偶	551,376	584,873
死別	103,951	110,449
離別	63,667	61,754
不詳	14,965	11,287